

中国・四国ブロック評議員意見交換会実施報告



中国・四国ブロック評議員意見交換会実施報告

■ 会議概要

● 日時(場所) 平成29年9月20日(水) 14:00~17:00(岡山市)

● 参加者

[評議員] 中国・四国ブロック9支部の評議員(各支部2名)

[本 部] 藤井理事、企画部企画グループ

[支 部] 中国・四国ブロック9支部の支部長・企画総務部長等



● 議題

- ・平成30年度保険料率について
- ・インセンティブ制度について

■ 議題にかかる広島支部評議員の意見(抜粋)

● 保険料率について

- ・協会の運営は企業経営と同じであると考えている。必ず保険料率を下げて、加入者に還元するようにしないと、加入者の努力は報われない。多くの支部が、以前よりも保険者機能を発揮し、積極的に取り組みを行っている。頑張っていることを評価しないと支部もやる気を無くしてしまう。今までずっと保険料率を上げてきているのだから、一度下げ、だめならまた上げればよい。□
- ・準備金を医療費適正化の財源や、インセンティブ予算に使うべきではないか。

● インセンティブ制度について

- ・パイロット事業などの医療費適正化事業が報われる成績指標としてほしい。

■ 全体の意見の概要

- ・保険料率については準備金が積みあがっている以上は保険料率を下げるべきだとの意見が大半であった。
- ・インセンティブ制度については賛成・反対意見が分かれた。賛成の意見でも運用面を懸念する意見が多くあり、反対意見には健診やジェネリックを使用し健康でいた人が必ず報われるとは限らないことや支部間の格差の広がりを心配する意見があり広報の仕方もわかりやすく工夫すべきとの意見が上がった。